

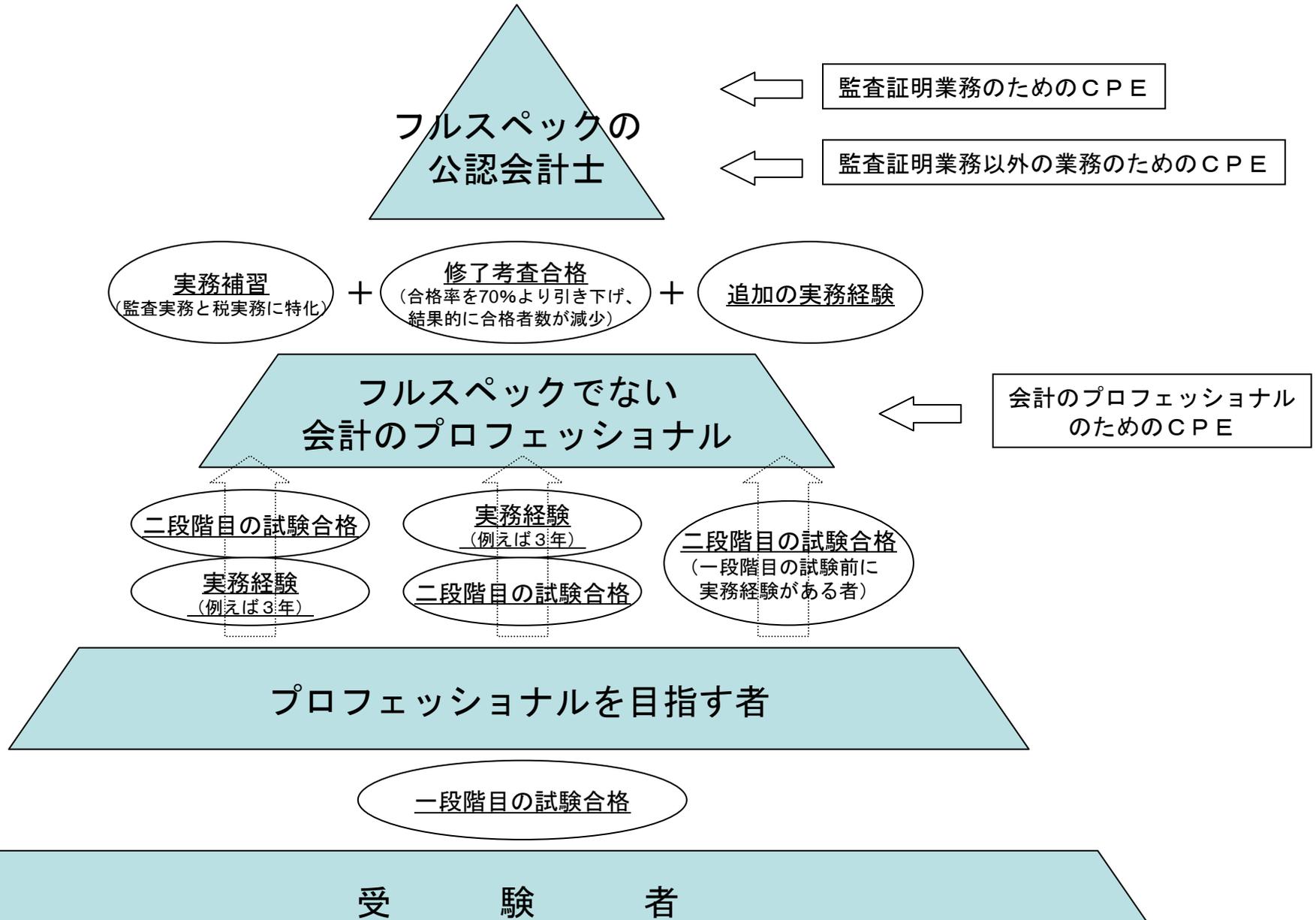
## 参 考 資 料

- 資格の取得・維持の要件について(たたき台)… 2
- 国際教育基準(IES) … 3
- 案の1関係 … 4
- 案の2関係 …10
- 基礎資料 …19
- 公認会計士試験合格まで(具体例) …22  
(公認会計士・監査審査会「公認会計士試験Q&A」より)

(注)

- ・「既卒業者」とは、合格者のうち、最終学歴後、一度も就業経験がない者をいう。
- ・「在学中」とは、合格者のうち、大学、大学院に在学中の者をいう。
- ・「就業経験者」とは、合格者のうち、一旦就職したが、退職して公認会計士試験を受験した者をいう(就業内容及び期間については不明)。
- ・「社会人」とは、合格者のうち、企業・官公庁及び監査法人等に勤務している者をいう(就業内容及び期間については不明)。

# 資格の取得・維持の要件について（たたき台）



## 国際教育基準（IES）

- 第一号 プロフェッショナルの会計教育プログラムへの参加要件  
ENTRY REQUIREMENTS TO A PROGRAM OF PROFESSIONAL ACCOUNTING  
EDUCATION  
(2003年10月策定、2005年1月適用)
- 第二号 プロフェッショナルの会計教育プログラムの内容  
CONTENT OF PROFESSIONAL ACCOUNTING EDUCATION PROGRAMS  
(2003年10月策定、2005年1月適用)
- 第三号 プロフェッショナルとしてのスキル  
PROFESSIONAL SKILLS  
(2003年10月策定、2005年1月適用)
- 第四号 プロフェッショナルとしての価値観、倫理及び心構え  
PROFESSIONAL VALUES, ETHICS AND ATTITUDES  
(2003年10月策定、2005年1月適用)
- 第五号 実務経験の要件  
PRACTICAL EXPERIENCE REQUIREMENTS  
(2003年10月策定、2005年1月適用)
- 第六号 プロフェッショナルとしての能力の評価  
ASSESSMENT OF PROFESSIONAL CAPABILITIES AND COMPETENCE  
(2003年10月策定、2005年1月適用)
- 第七号 継続的なプロフェッショナルの能力開発  
: 生涯学習及びプロフェッショナルの継続的能力開発のプログラム  
CONTINUING PROFESSIONAL DEVELOPMENT :A PROGRAM OF LIFELONG  
LEARNING AND CONTINUING DEVELOPMENT OF PROFESSIONAL COMPETENCE  
(2004年5月策定、2006年1月適用)
- 第八号 監査のプロフェッショナルの能力の要件  
COMPETENCE REQUIREMENTS FOR AUDIT PROFESSIONALS  
(2006年7月策定、2008年1月適用)

# 案の1関係

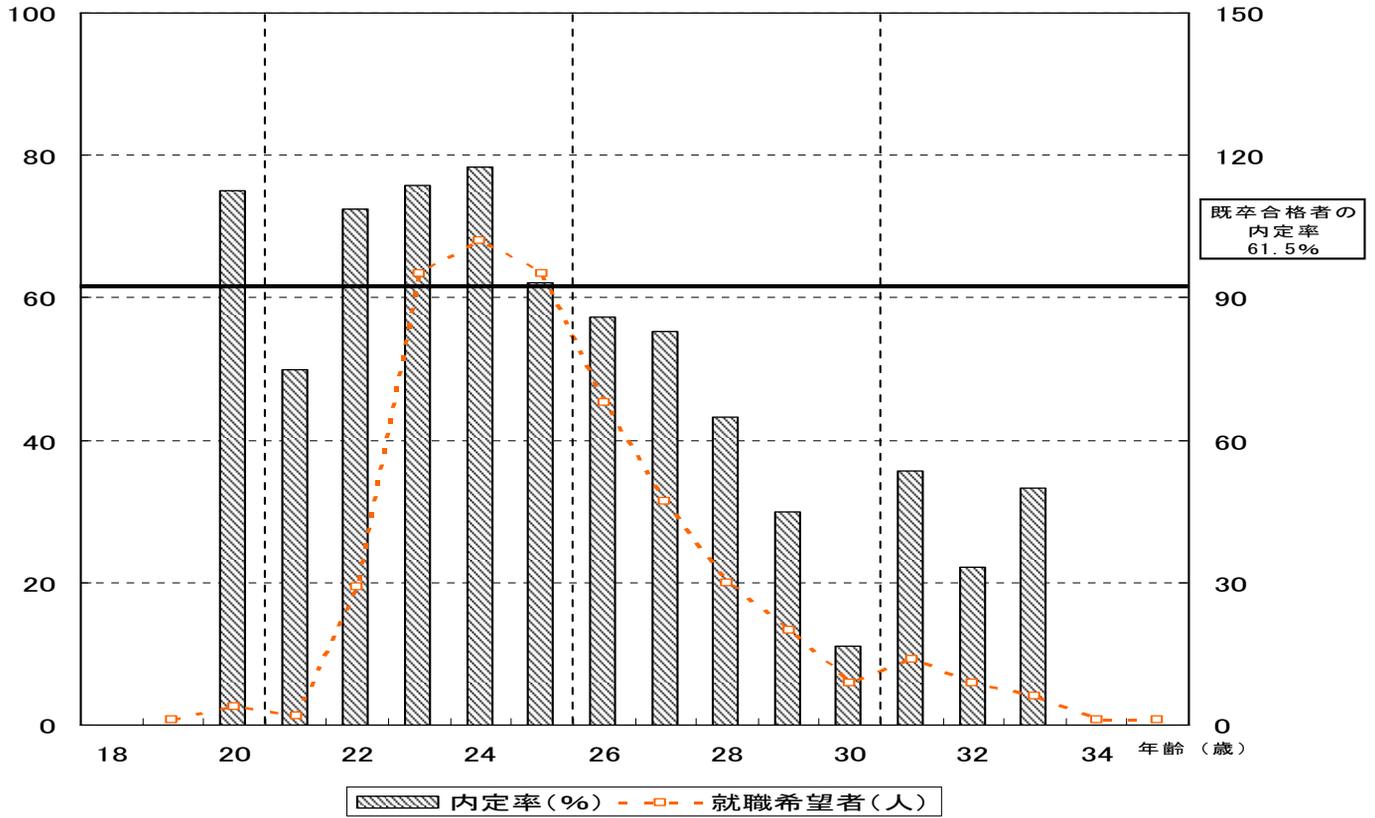
## 合格年齢別の内定状況（既卒業者）

回答者数：540人  
平均年齢：25.5歳  
内定率：61.5%

◎年齢が高くなるほど内定率が低くなる。

内定率（%）

就職希望者（人）



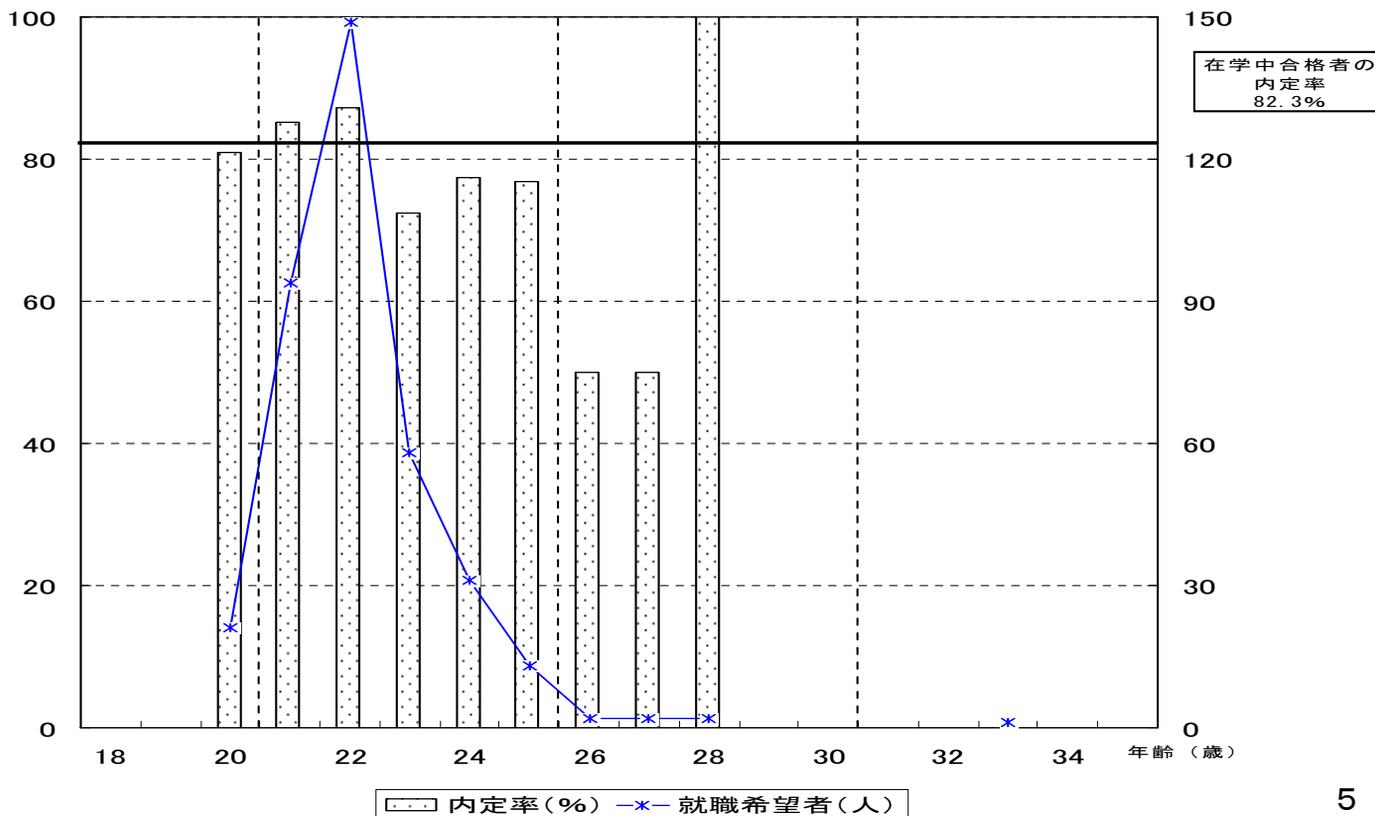
## 合格年齢別の内定状況（在学中）

回答者数：373人  
平均年齢：22.2歳  
内定率：82.3%

◎年齢による内定率への影響はあまり見られない。

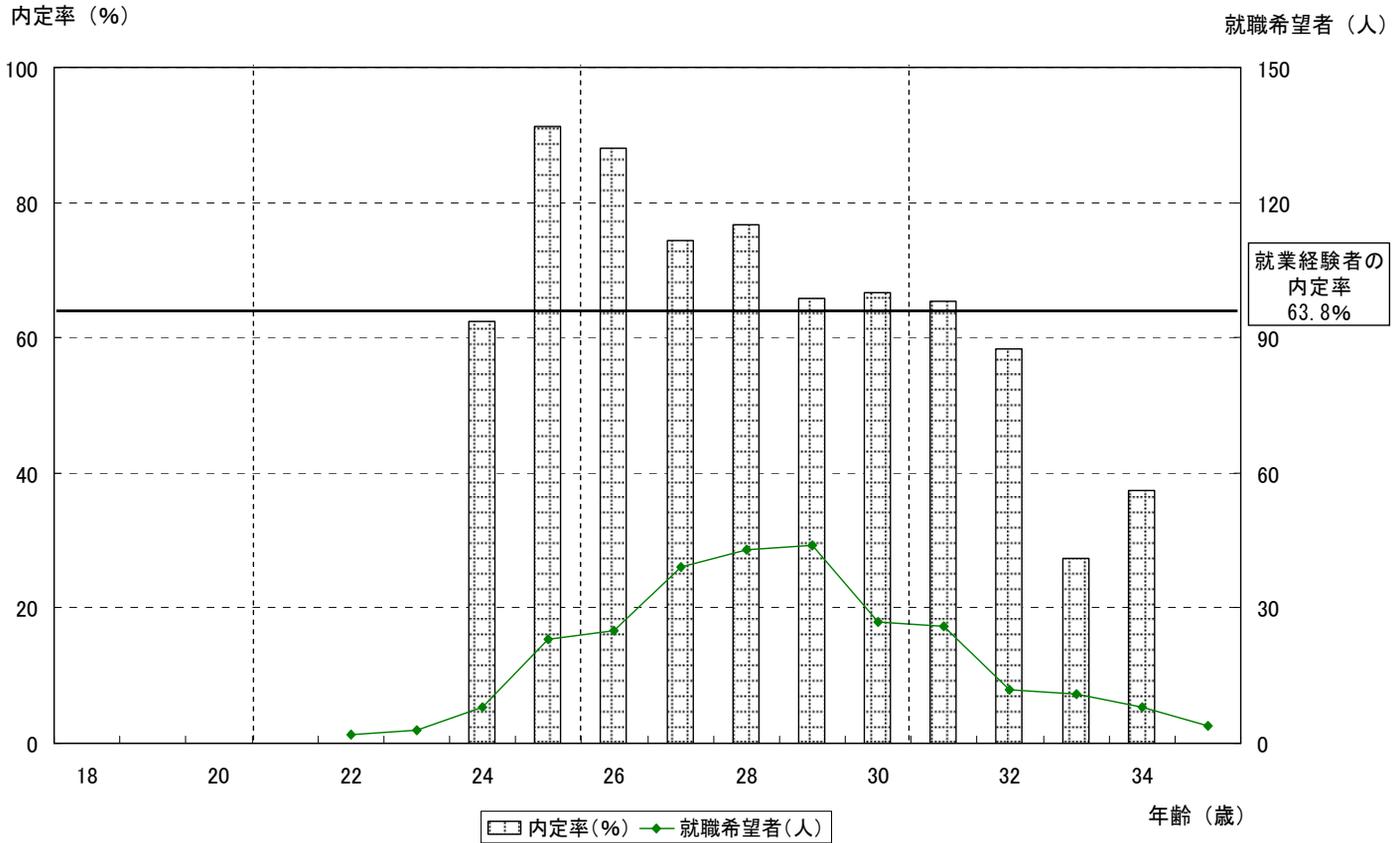
内定率（%）

就職希望者（人）



## 合格年齢別の内定状況（就業経験者）

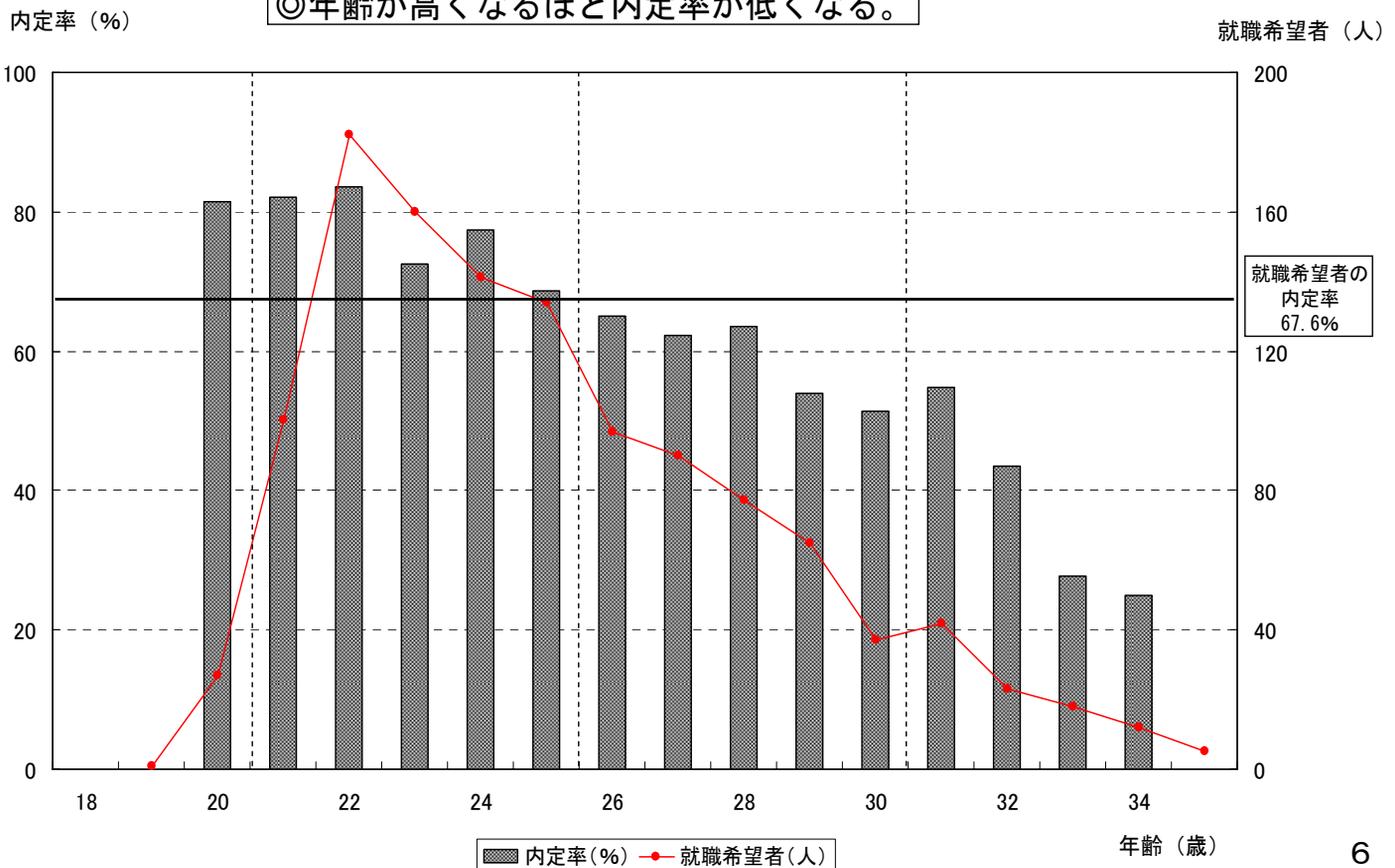
回答者数：309人  
平均年齢：29.8歳  
内定率：63.8%



## 合格年齢別の内定状況（全体）

回答者数：1,255人  
平均年齢：25.6歳  
内定率：67.6%

◎年齢が高くなるほど内定率が低くなる。



# 合格年齢と内定との関係

## (既卒業者)

◎25歳以上の者に、二段階目の前に実務経験を求めると、

- ・ 152人(208人中)の内定のない合格者が、二段階目の前に実務経験が必要となり、
- ・ 177人(332人中)の内定のある合格者が、実務経験なしに二段階目を受けられる。  
(155人(332人中)の内定のある合格者が、二段階目の前に実務経験が必要となる。)

年齢	内定なし			内定あり		
	当該年齢 の人数	当該年齢 以上の人数	当該年齢 以上の割合	当該年齢 の人数	当該年齢 以下の人数	当該年齢 以下の割合
21歳以下	3	208	100.0%	4	4	1.2%
22歳	8	205	98.6%	21	25	7.5%
23歳	23	197	94.7%	72	97	29.2%
24歳	22	174	83.7%	80	177	53.3%
25歳	36	152	73.1%	59	236	71.1%
26歳	29	116	55.8%	39	275	82.8%
27歳以上	87	87	41.8%	57	332	100.0%
計	208			332		

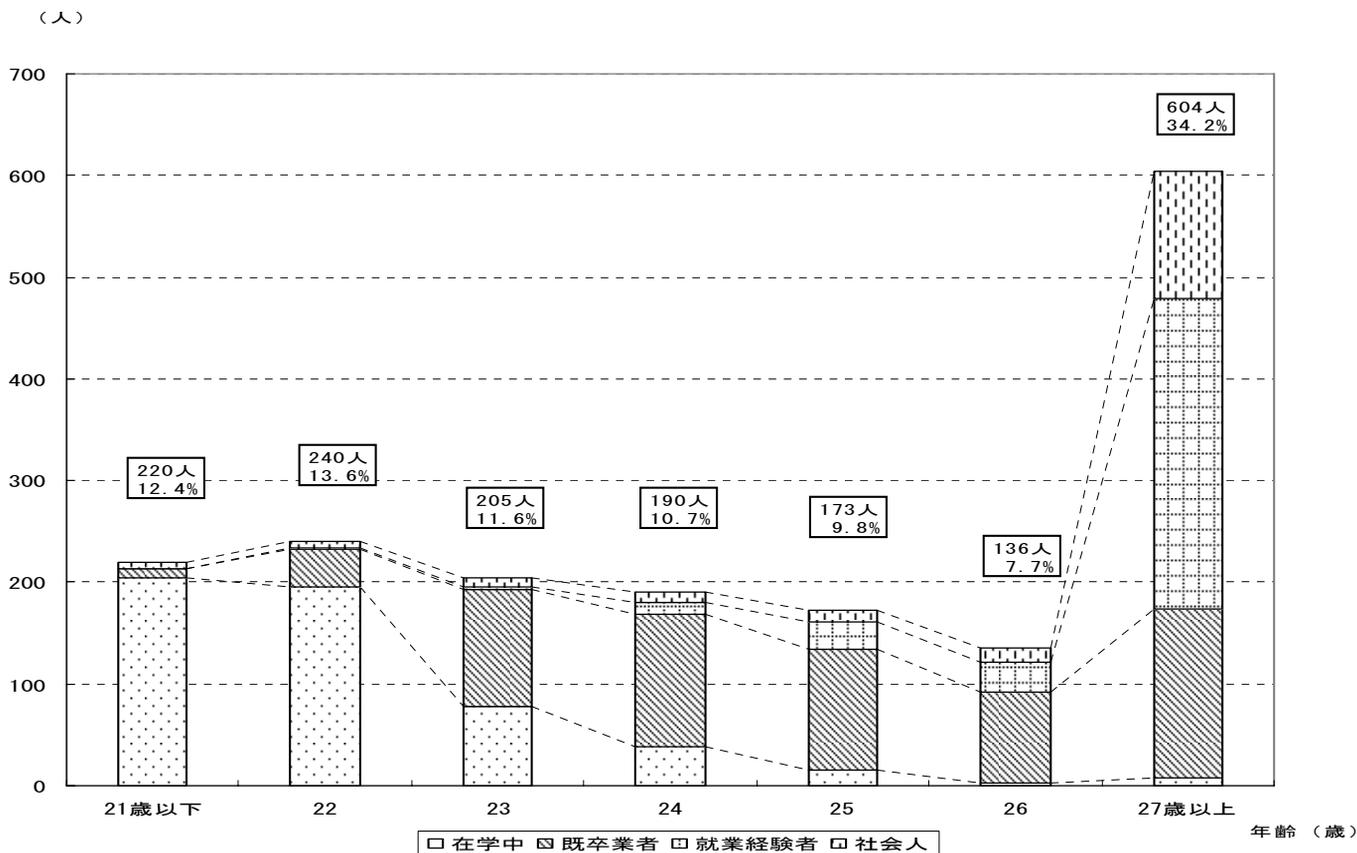
## (在学中)

◎25歳以上の者に、二段階目の前に実務経験を求めると、

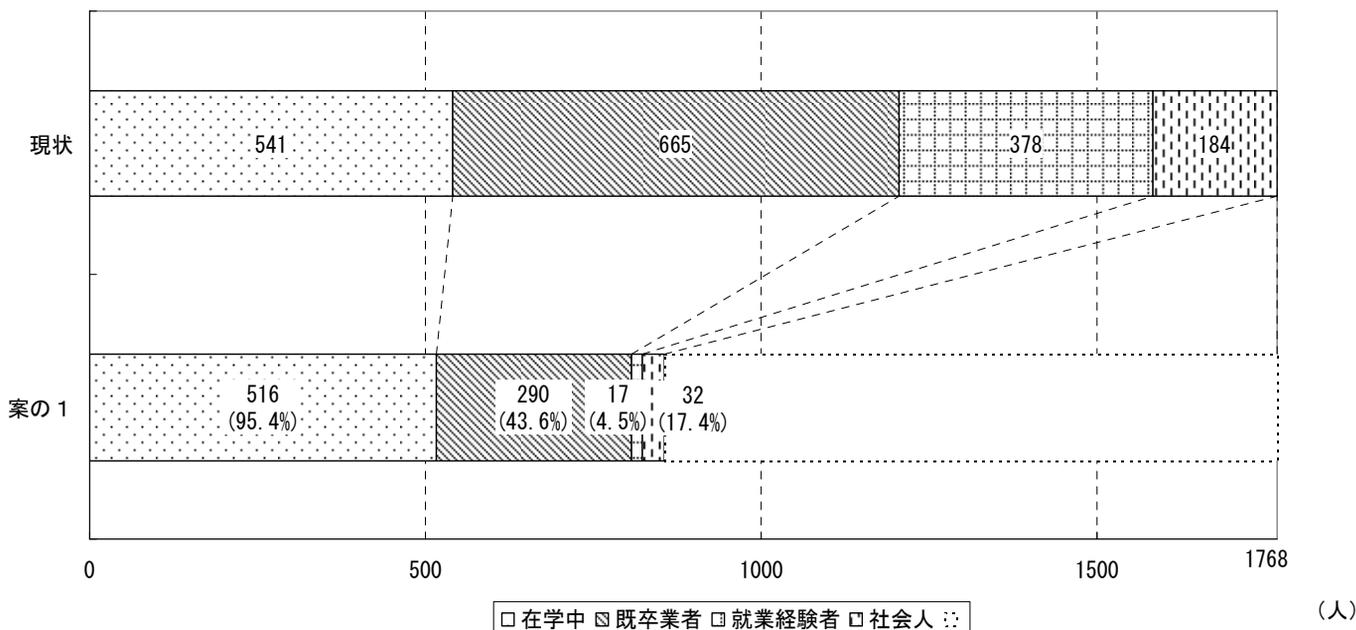
- ・ 6人(66人中)の内定のない合格者が、二段階目の前に実務経験が必要となり、
- ・ 293人(307人中)の内定のある合格者が、実務経験なしに二段階目を受けられる。  
(14人(307人中)の内定のある合格者が、二段階目の前に実務経験が必要となる。)

年齢	内定なし			内定あり		
	当該年齢 の人数	当該年齢 以上の人数	当該年齢 以上の割合	当該年齢 の人数	当該年齢 以下の人数	当該年齢 以下の割合
21歳以下	18	66	100.0%	97	97	31.6%
22歳	19	48	72.7%	130	227	73.9%
23歳	16	29	43.9%	42	269	87.6%
24歳	7	13	19.7%	24	293	95.4%
25歳	3	6	9.1%	10	303	98.7%
26歳	1	3	4.5%	1	304	99.0%
27歳以上	2	2	3.0%	3	307	100.0%
計	66			307		

◎合格年齢が24歳以下の者は、全合格者の48.4%



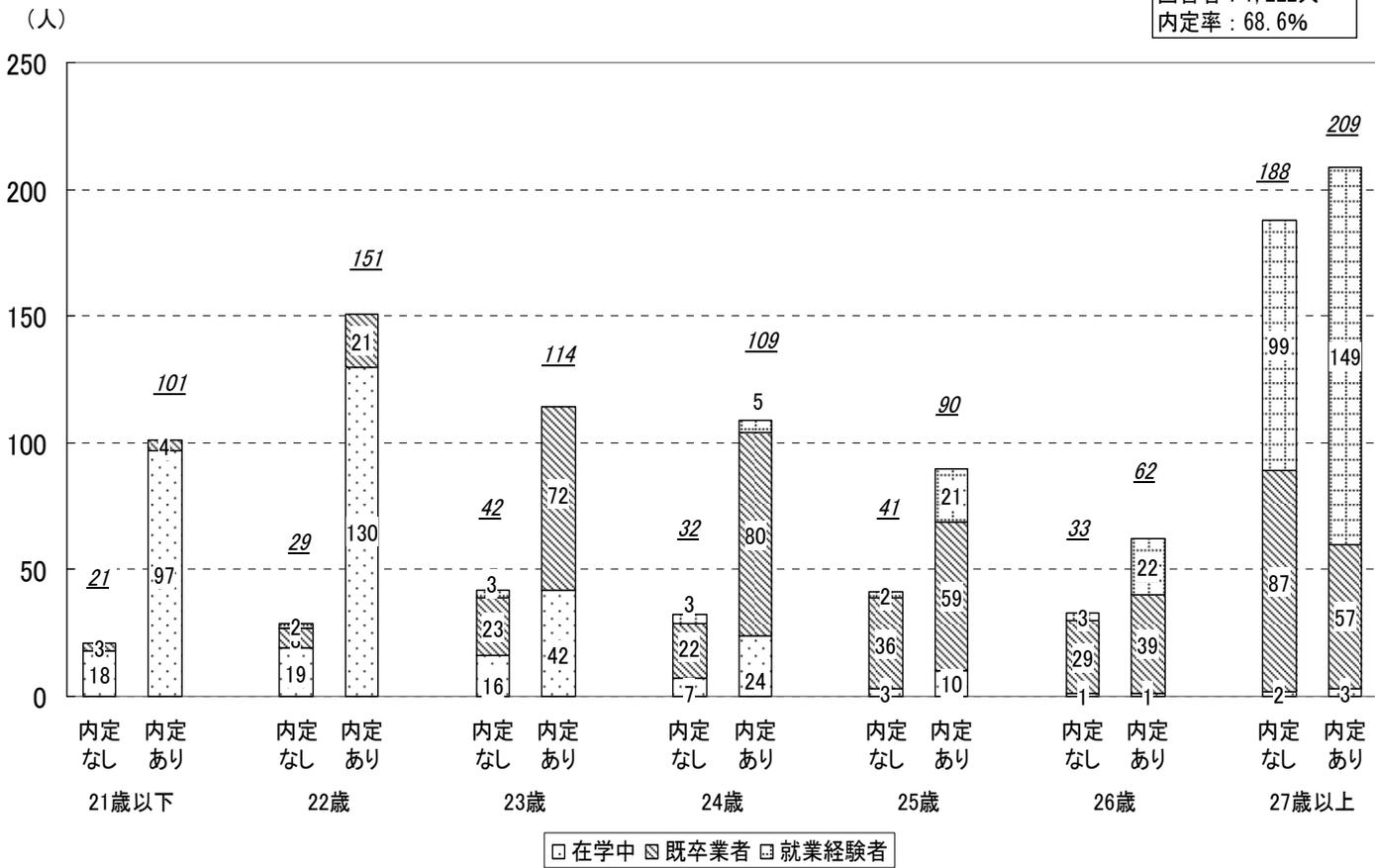
**【案の1】 25歳以上の者に、実務経験を求める場合**



(注) カッコ内の数値は、現状の合格者数と比較した割合である。

# 合格年齢別の内定状況

対象：学生  
既卒業者  
就業経験者  
回答者：1,222人  
内定率：68.6%

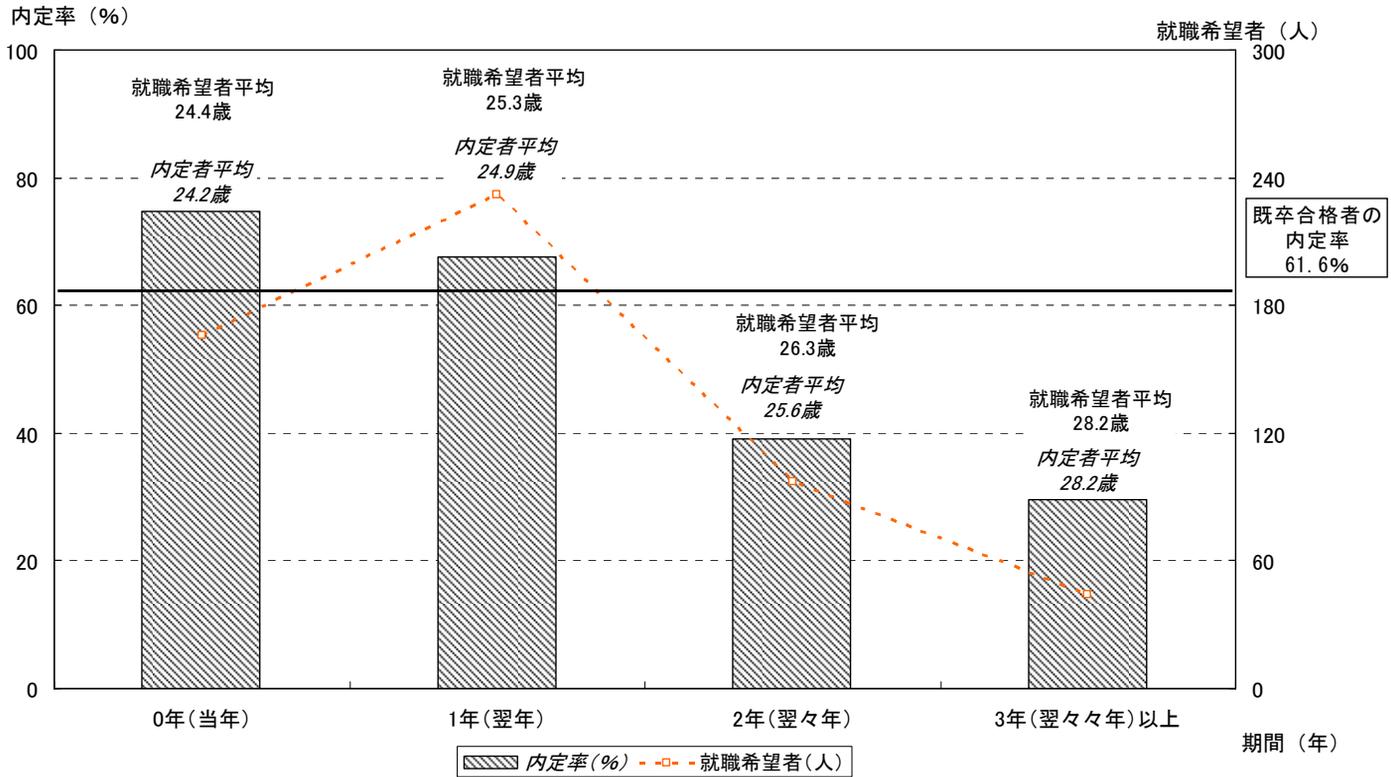


## 案の2関係

# 短答式合格から論文式合格までの期間別の内定状況 (既卒業者)

回答者数：539人  
平均年齢：25.5歳  
内定率：61.6%

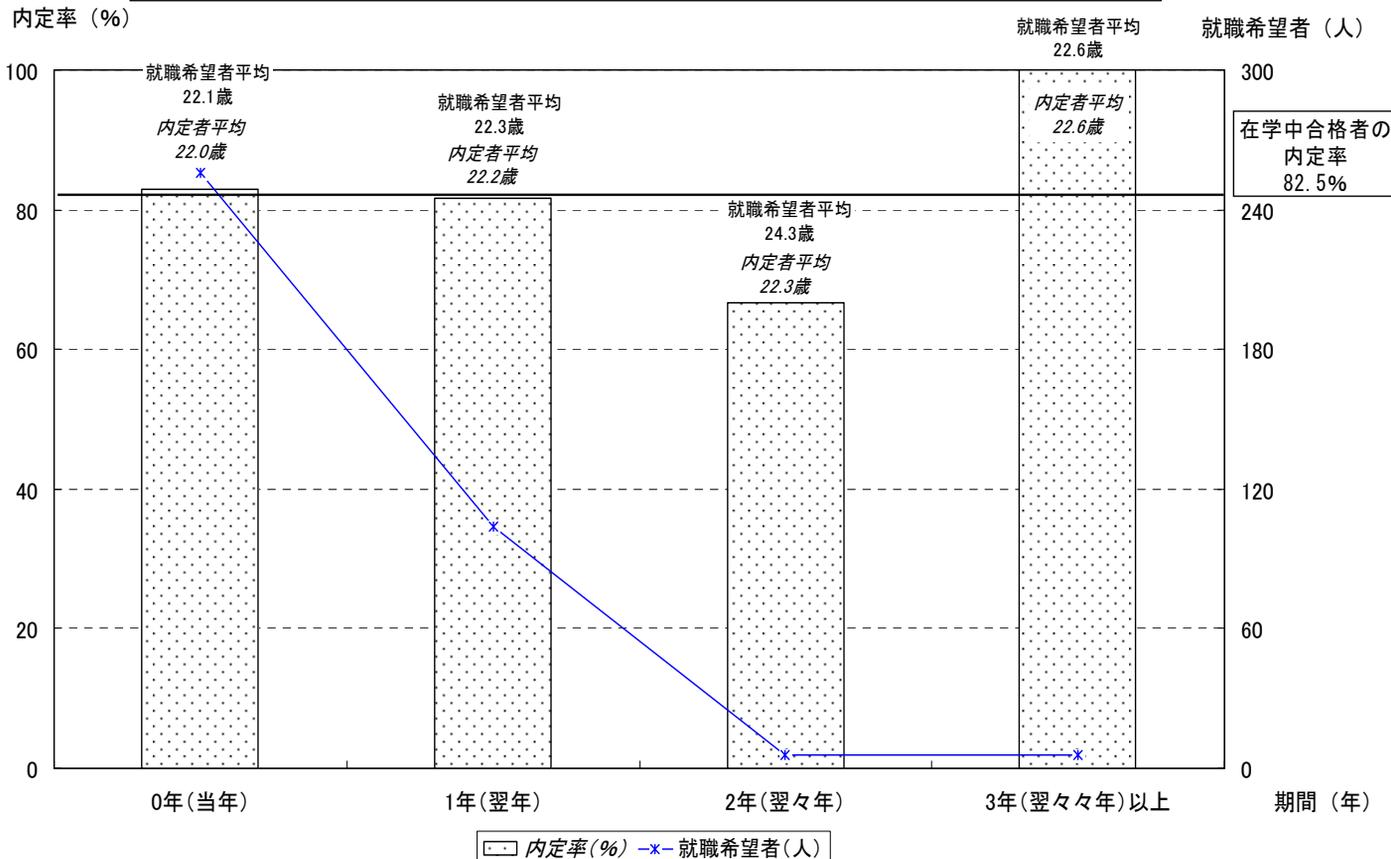
◎論文式合格までの期間が1年を超えると、内定率は大きく低下する。



# 短答式合格から論文式合格までの期間別の内定状況 (在学中)

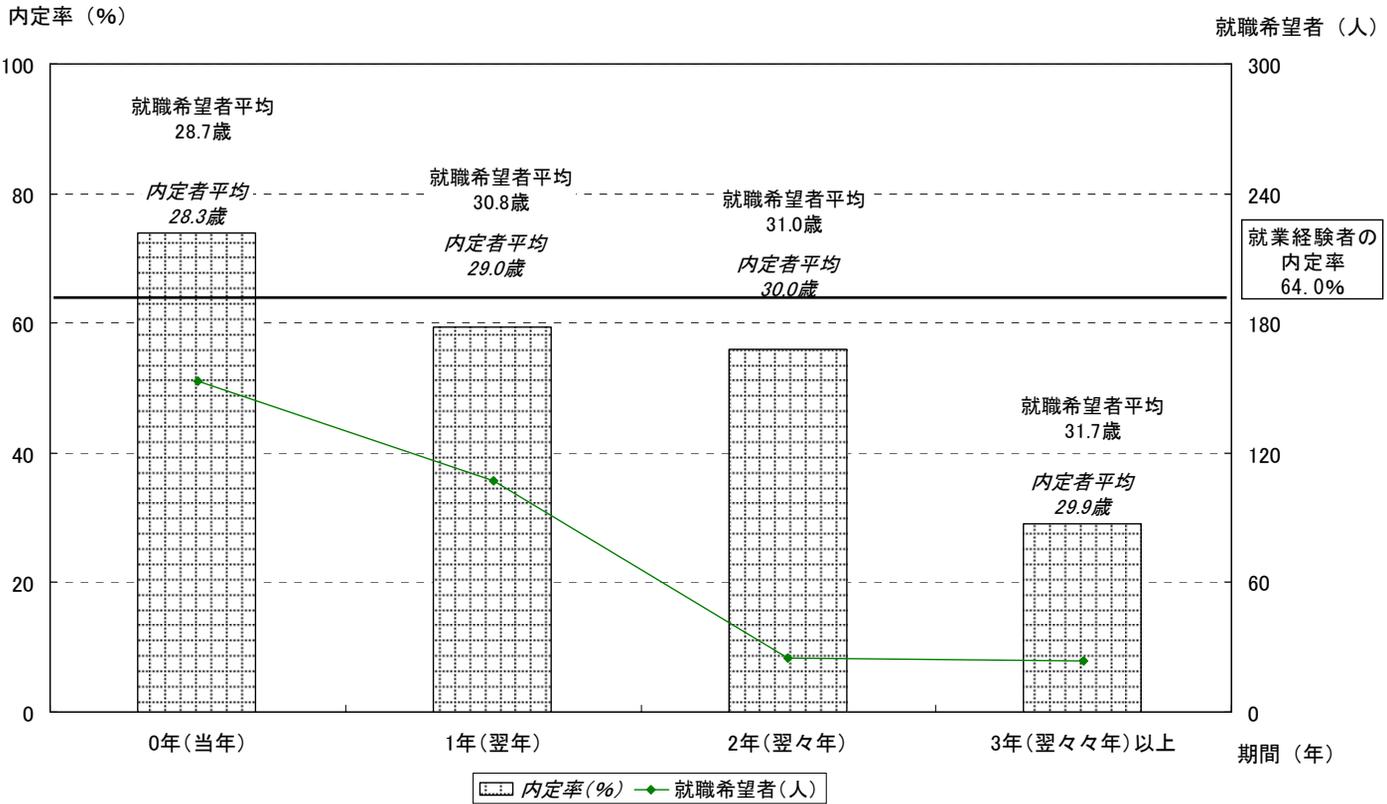
回答者数：372人  
平均年齢：22.2歳  
内定率：82.5%

◎在学中合格者のほとんどの者は、論文合格までの期間が1年以内。



## 短答式合格から論文式合格までの期間別の内定状況 (就業経験者)

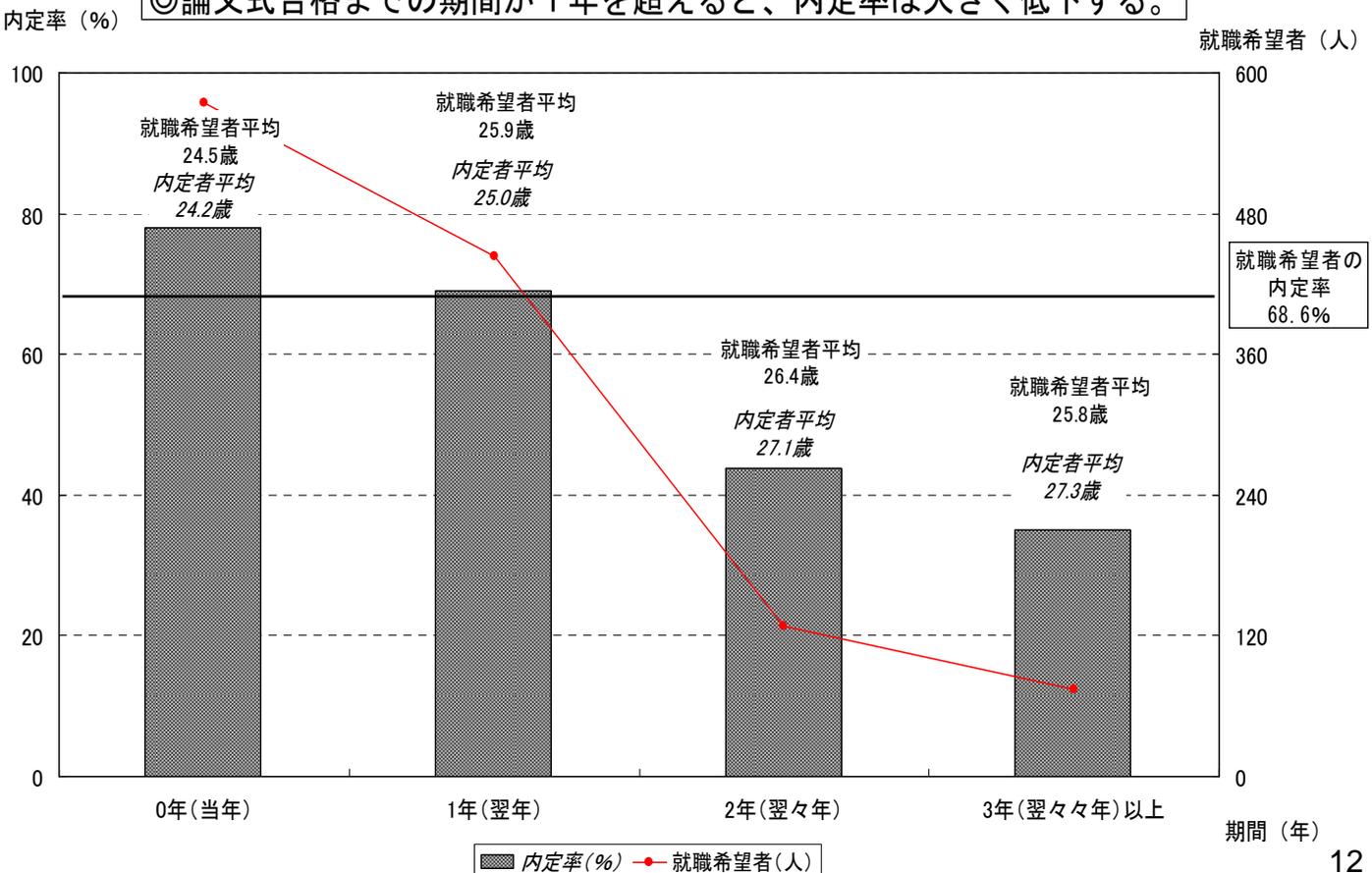
回答者数 : 308人  
平均年齢 : 29.8歳  
内定率 : 64.0%



## 短答式合格から論文式合格までの期間別の内定状況 (全体)

回答者数 : 1,220人  
平均年齢 : 25.4歳  
内定率 : 68.6%

◎論文式合格までの期間が1年を超えると、内定率は大きく低下する。



## 短答式合格から論文式合格までの期間と内定との関係

### (既卒業者)

- ◎論文合格までの期間が2年以上の者に、二段階目の前に実務経験を求めると、
- ・ 90人(207人中)の内定のない合格者が、二段階目の前に実務経験が必要となり、
  - ・ 281人(332人中)の内定のある合格者が、実務経験なしに二段階目を受けられる。  
( 51人(332人中)の内定のある合格者が、二段階目の前に実務経験が必要となる。)

期間	内定なし			内定あり		
	当該期間 の人数	当該期間 以上の人数	当該期間 以上の割合	当該期間 の人数	当該期間 以下の人数	当該期間 以下の割合
0年(当年)	42	207	100.0%	124	124	37.3%
1年(翌年)	75	165	79.7%	157	281	84.6%
2年(翌々年)	59	90	43.5%	38	319	96.1%
3年(翌々々年) 以上	31	31	15.0%	13	332	100.0%
計	207			332		

### (在学中)

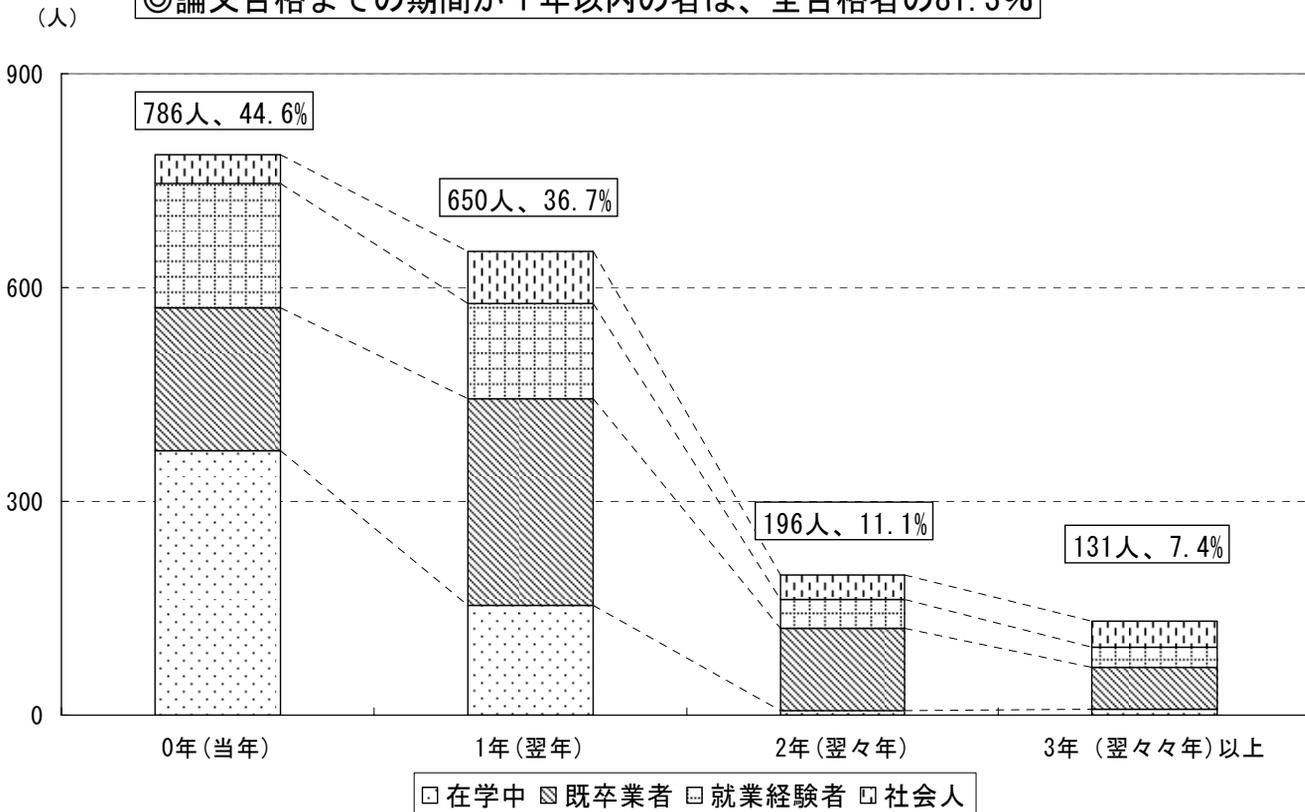
- ◎論文合格までの期間が2年以上の者に、二段階目の前に実務経験を求めると、
- ・ 2人( 65人中)の内定のない合格者が、二段階目の前に実務経験が必要となり、
  - ・ 297人(307人中)の内定のある合格者が、実務経験なしに二段階目を受けられる。  
( 10人(307人中)の内定のある合格者が、二段階目の前に実務経験が必要となる。)

期間	内定なし			内定あり		
	当該期間 の人数	当該期間 以上の人数	当該期間 以上の割合	当該期間 の人数	当該期間 以下の人数	当該期間 以下の割合
0年(当年)	44	65	100.0%	212	212	69.1%
1年(翌年)	19	21	32.3%	85	297	96.7%
2年(翌々年)	2	2	3.1%	4	301	98.0%
3年(翌々々年) 以上	0	0	0.0%	6	307	100.0%
計	65			307		

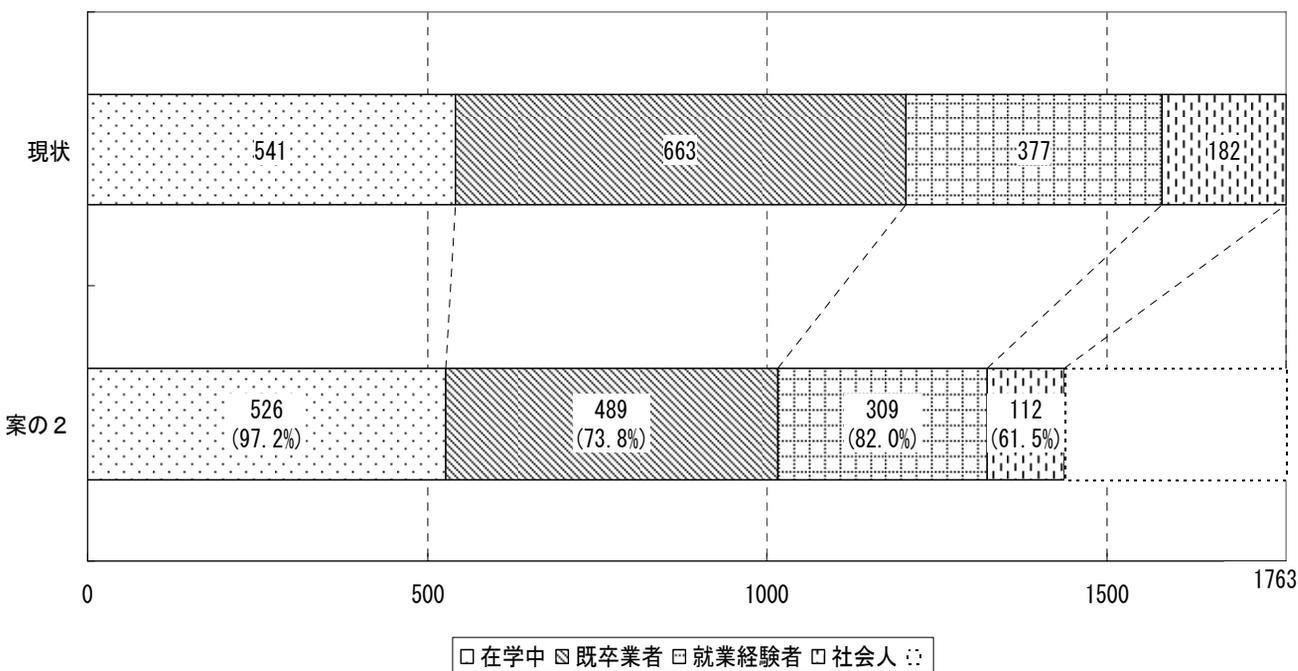
# 短答式合格から論文式合格までの 期間別の合格者数

対象：全員  
回答者数：1,763人

◎論文合格までの期間が1年以内の者は、全合格者の81.3%



## 【案の2】論文合格までの期間が2年以上の者に、 実務経験を求める場合

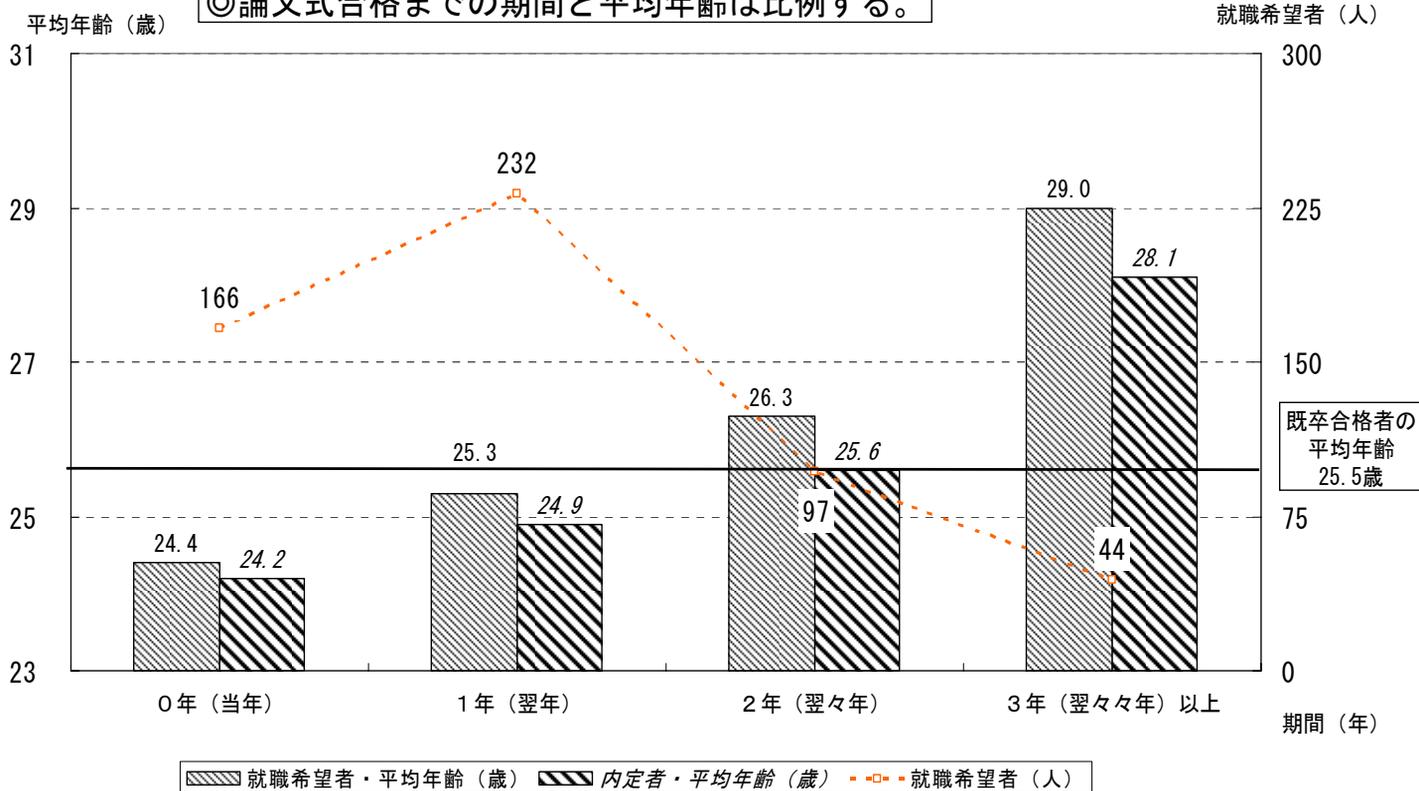


(注) カッコ内の数値は、現状の合格者数と比較した割合である。

## 短答式合格から論文式合格までの期間別の平均年齢 (既卒業者)

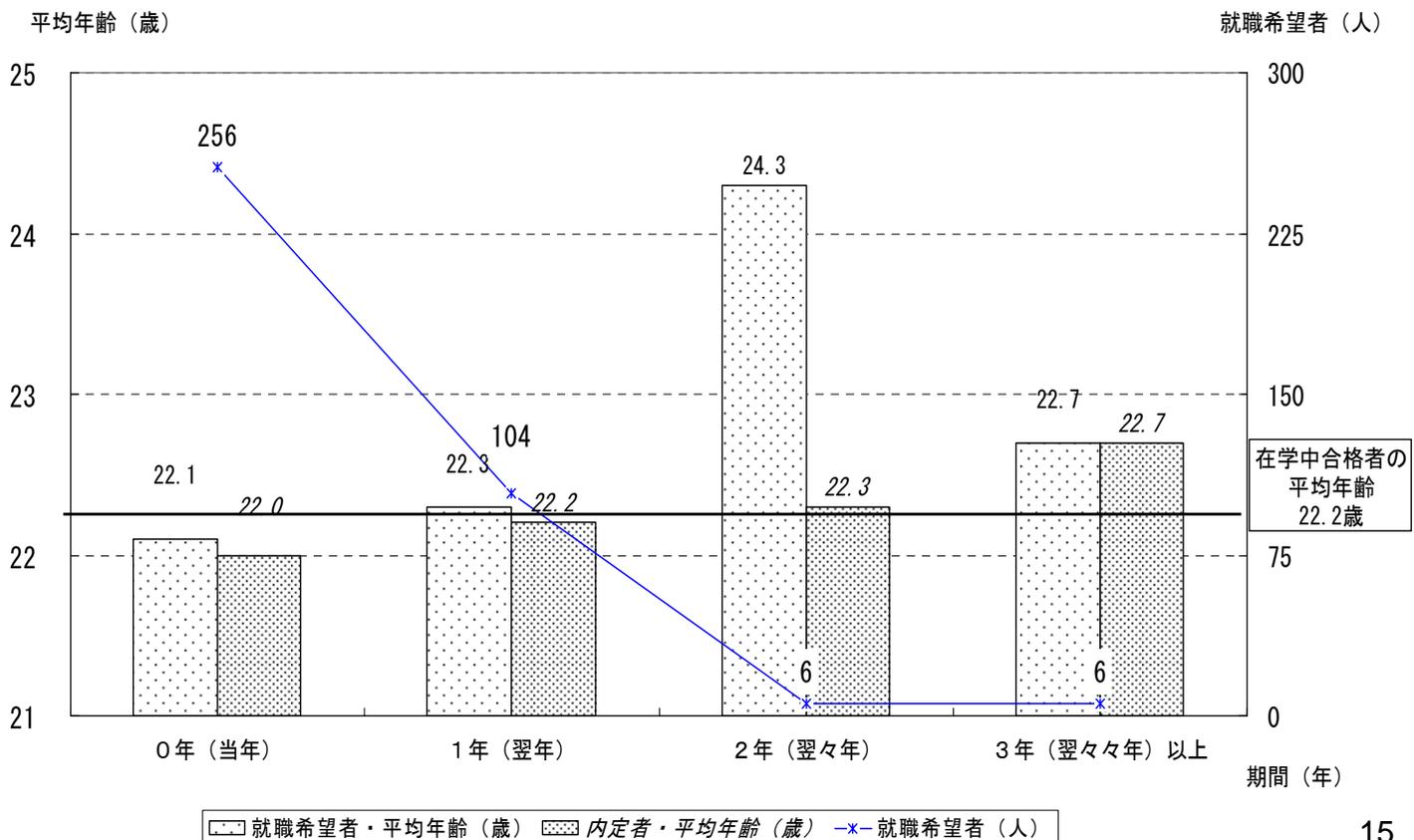
回答者数：539人  
平均年齢：25.5歳  
内定率：61.6%

◎論文式合格までの期間と平均年齢は比例する。



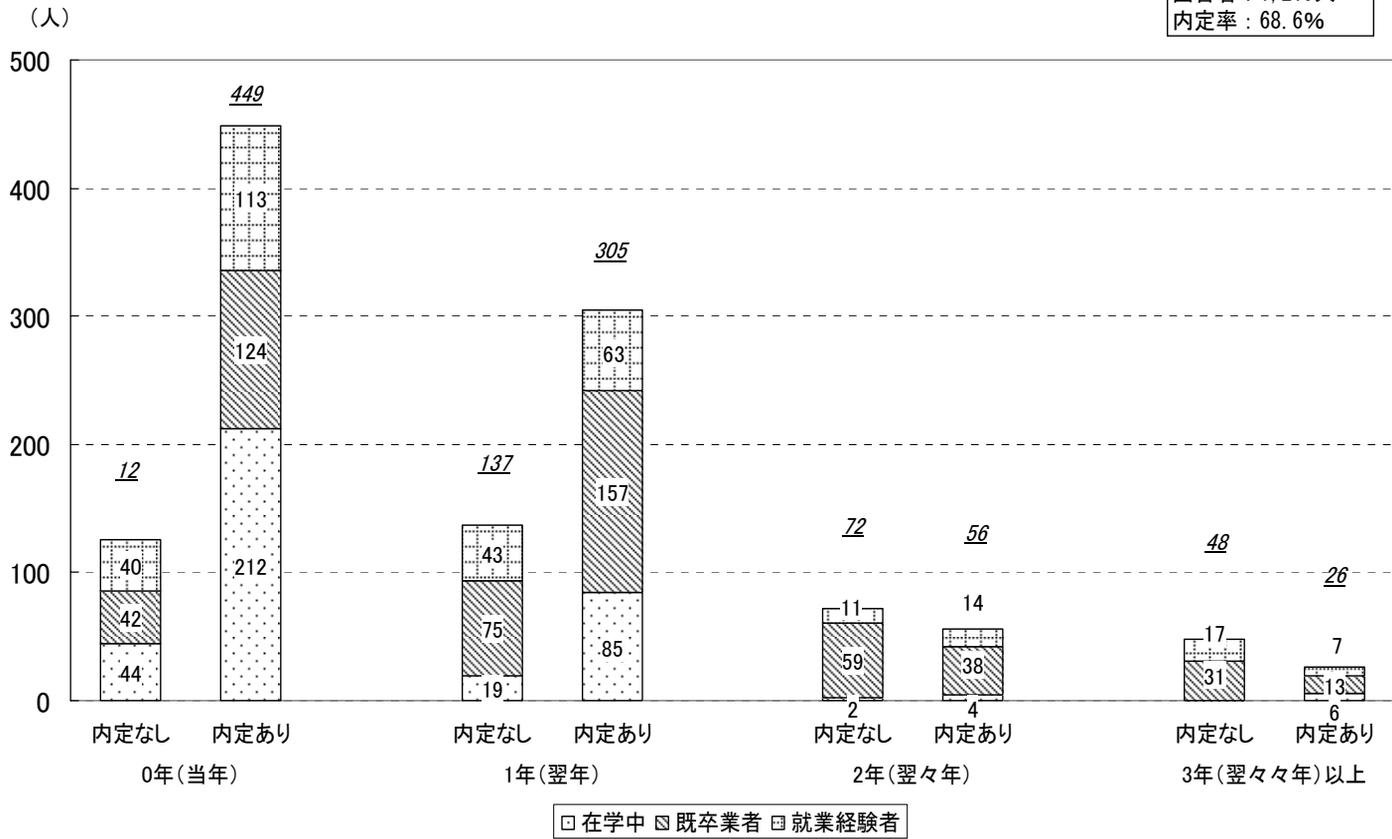
## 短答式合格から論文式合格までの期間別の平均年齢 (在学中)

回答者数：372人  
平均年齢：22.2歳  
内定率：82.5%



# 短答式合格から論文式合格までの期間別の内定状況

対 象：学生  
既卒業者  
就業経験者  
回答者：1,219人  
内定率：68.6%



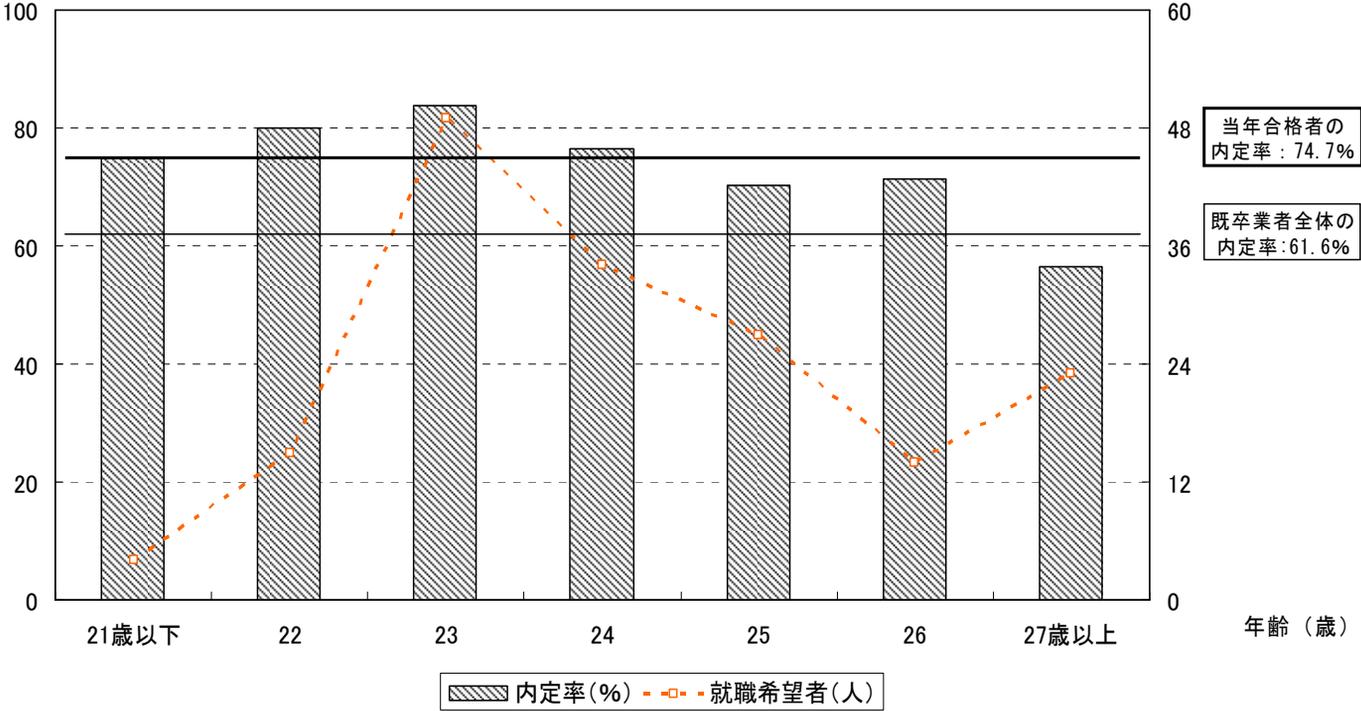
当年

### 短答式合格の当年に論文式に合格した者の 内定状況（既卒業者）

回答者数：166人  
平均年齢：24.4歳  
内定率：74.7%

内定率（%）

就職希望者（人）



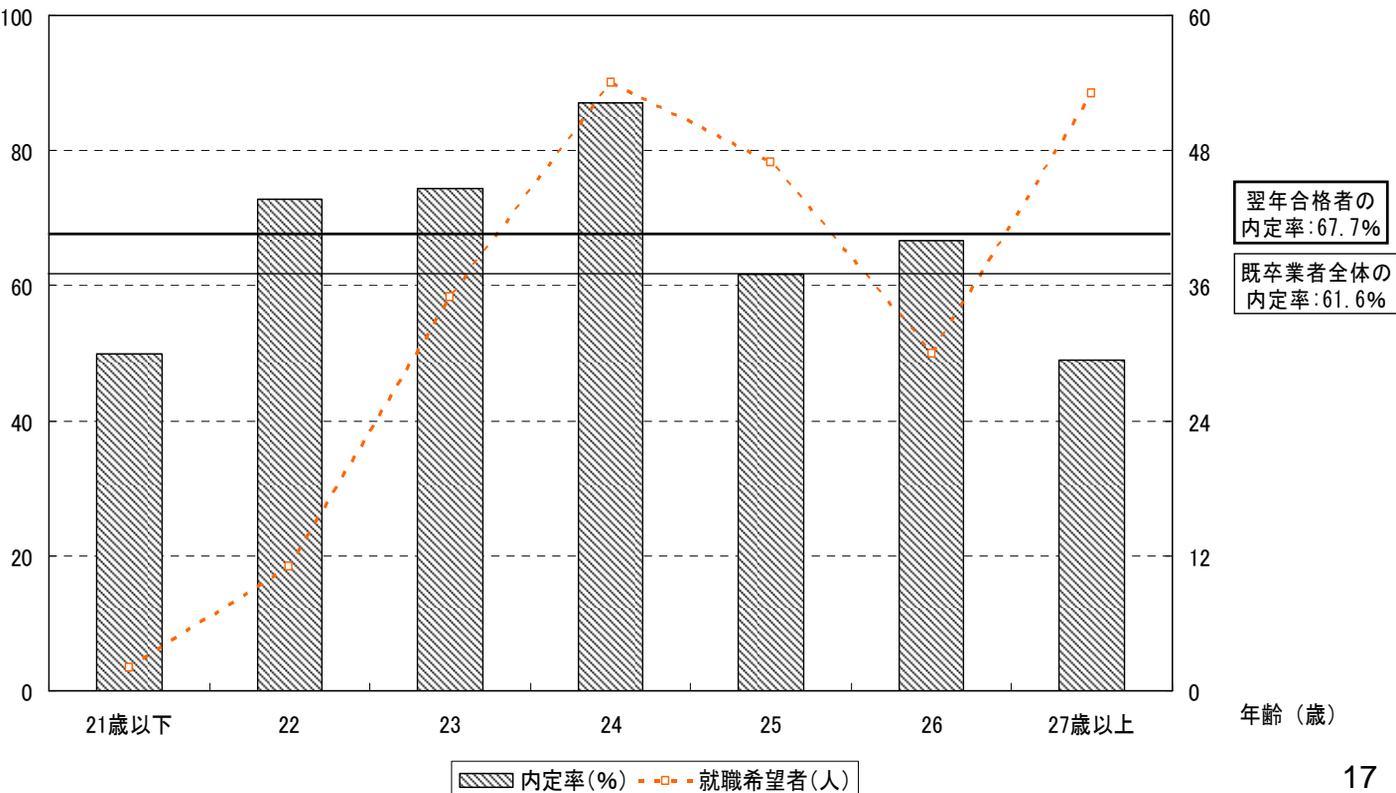
翌年

### 短答式合格の翌年に論文式に合格した者の 内定状況（既卒業者）

回答者数：232人  
平均年齢：25.3歳  
内定率：67.7%

内定率（%）

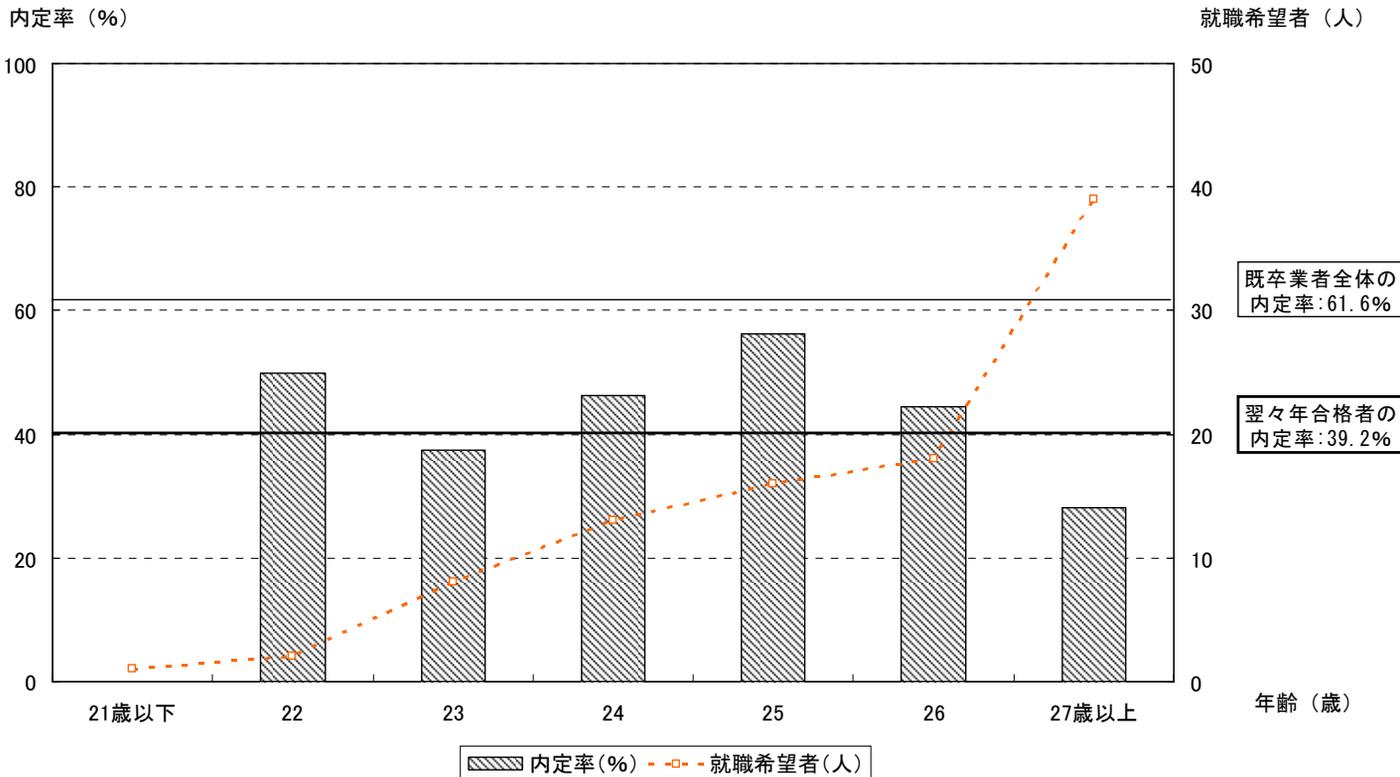
就職希望者（人）



翌々年

短答式合格の翌々年に論文式に合格した者の  
内定状況（既卒業者）

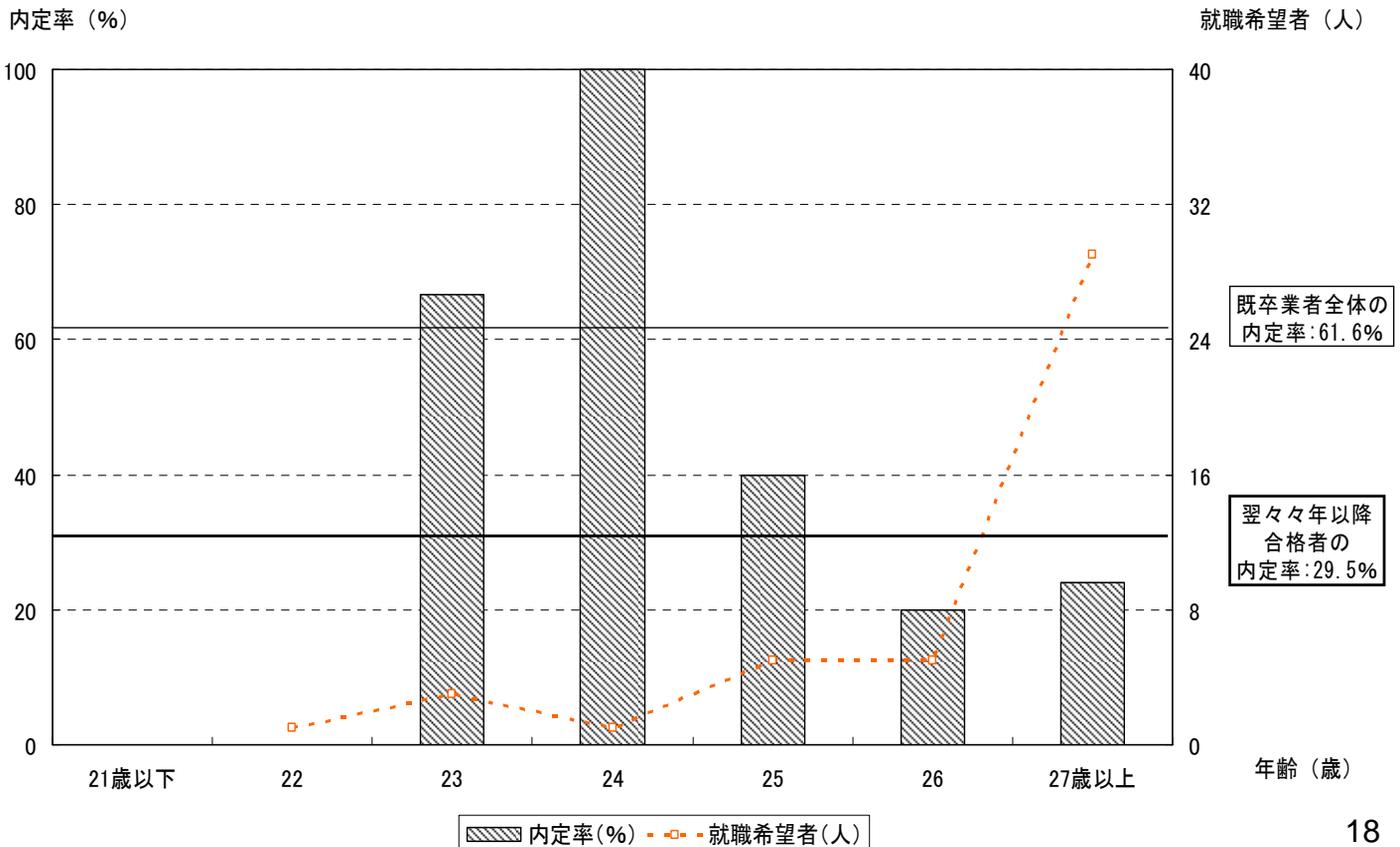
回答者数： 97人  
平均年齢： 26.3歳  
内定率： 39.2%



翌々年  
以降

短答式合格の翌々年以降に論文式に合格した者の  
内定状況（既卒業者）

回答者数： 44人  
平均年齢： 29.0歳  
内定率： 29.5%



# 基礎資料

## 経歴別の合格年齢及び勉強期間

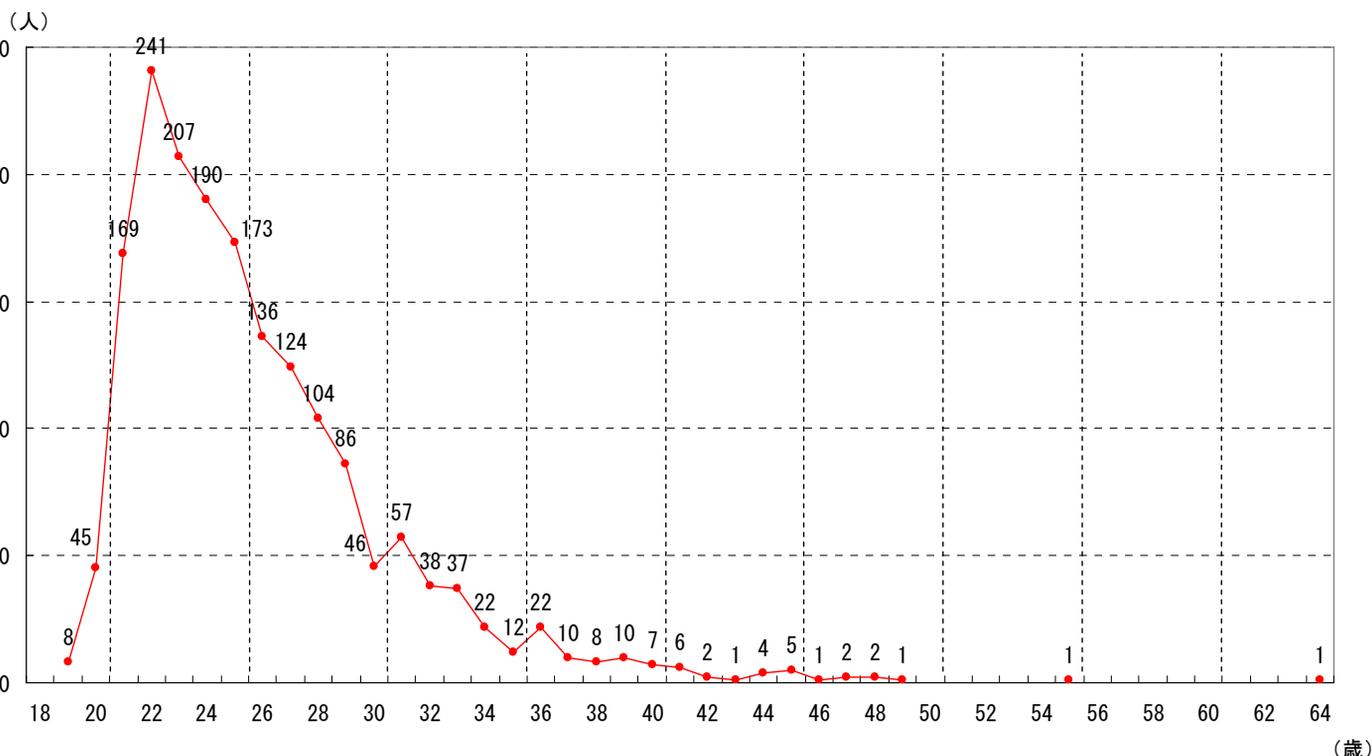
	平均合格年齢		平均勉強期間		人数(%)	内定率 (内定者の 平均年齢)
	短答式 合格	論文式 合格	勉強開始から 短答式合格まで	短答式合格から 論文式合格まで		
在学中	21.2歳	22.0歳	1.9年	0.8年	541人 (30.6%)	82.3% (22.1歳)
既卒業者	23.8歳	25.4歳	2.6年	1.6年	665人 (37.6%)	61.4% (24.8歳)
就業経験者	28.8歳	30.1歳	2.3年	1.3年	378人 (21.4%)	63.8% (28.7歳)
社会人	27.7歳	29.7歳	2.6年	2.0年	184人 (10.4%)	—
全体	24.5歳	25.8歳	2.3年	1.3年	1,768人 (100.0%)	67.8% (24.7歳)

(注)

- ・短答式試験の平均合格年齢は、論文式試験の平均合格年齢から、短答式合格から論文式合格までの平均期間を減算。
- ・論文式試験の平均合格年齢は、実務補習所入所時の年齢と同じとした。
- ・短答式合格から論文式合格までの平均期間については、短答式合格発表（6月）から論文式合格発表（11月）までの期間（5ヶ月=0.4年）を加算。
- ・内定率は、平成21年12月10日時点における就職希望者のうち内定が取れている者の割合。

## 合格者の年齢分布

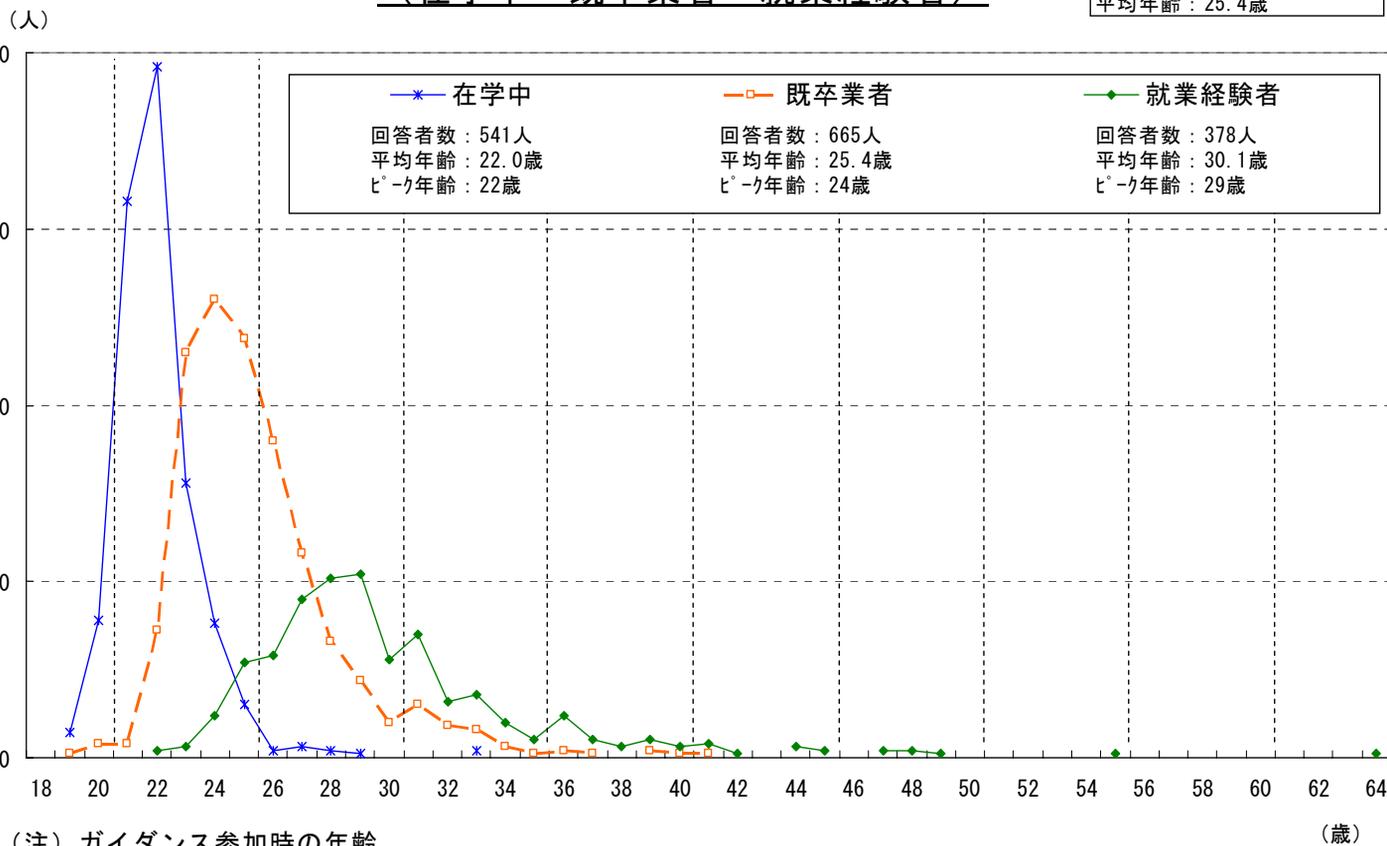
対 象：全 員  
 回答者数：1,778人  
 平均年齢：25.8歳  
 ビーク年齢：22歳



(注) ガイダンス参加時の年齢

# 経歴別の年齢分布 (在学中・既卒業者・就業経験者)

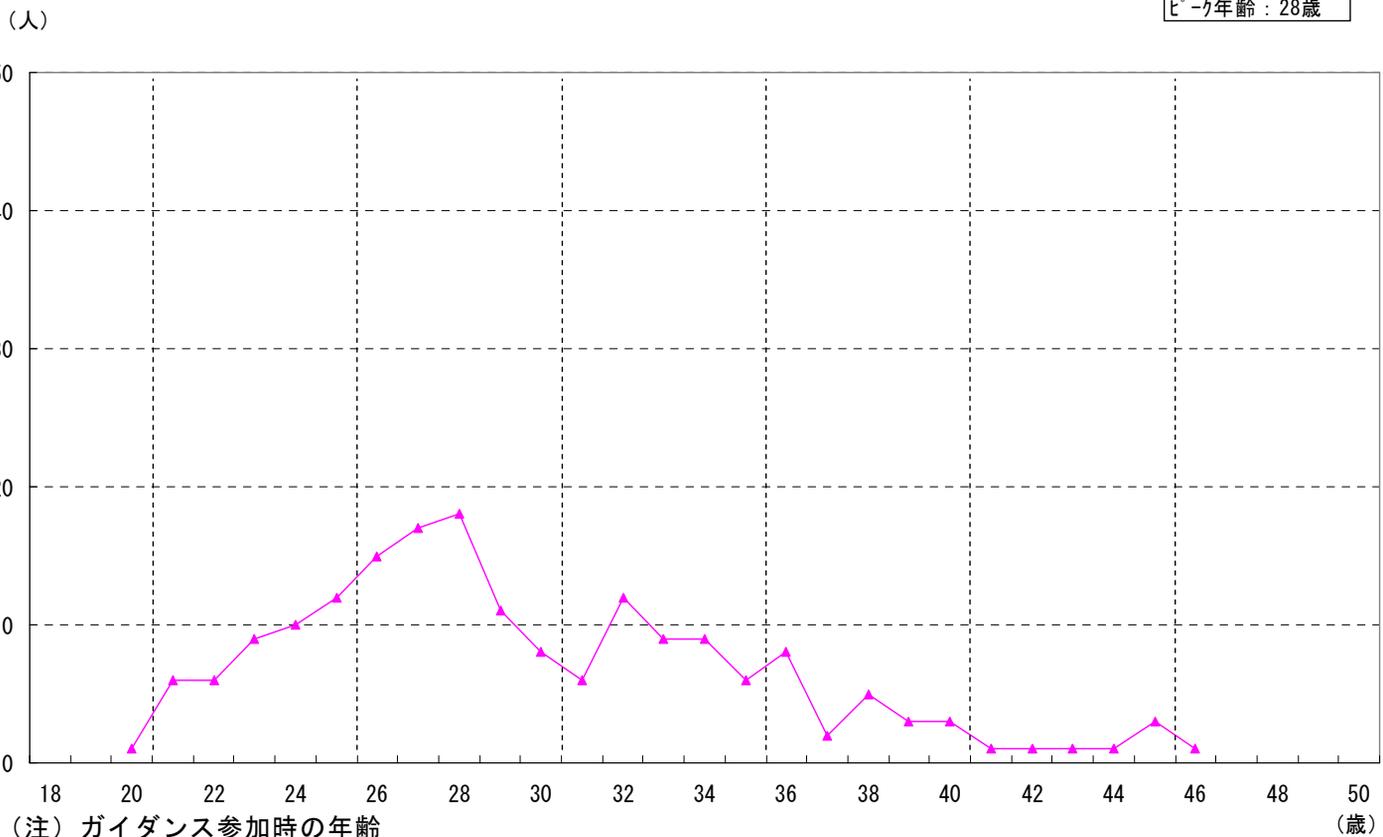
対象：在学中、既卒業者  
就業経験者  
回答者数：1,584人  
平均年齢：25.4歳



(注) ガイダンス参加時の年齢

# 経歴別の年齢分布 (社会人)

対象：社会人  
回答者数：184人  
平均年齢：29.7歳  
ピーク年齢：28歳



(注) ガイダンス参加時の年齢

公認会計士試験合格まで（具体例）

試験科目		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
短答式試験		合格		第Ⅰ回 免除	第Ⅱ回 免除	第Ⅰ回 免除	第Ⅱ回 免除	第Ⅰ回 不合格	第Ⅱ回 合格
論文式試験	会計学	不 合 格	科目免除資格付与	不 合 格	免除	不 合 格	免除	合 格	
	監査論		科目免除資格付与		免除		免除		
	企業法				科目免除資格付与				
	租税法								
	選択科目								
備考		短答式：受験して合格（以後2年間は申請により免除） 論文式：受験科目全体では不合格。会計学については科目免除資格付与（以後2年間は申請により免除）		短答式：免除 論文式：会計学を除く4科目を受験、受験科目全体では不合格。監査論については科目免除資格付与（以後2年間は申請により免除）		短答式：免除 論文式：会計学及び監査論を除く3科目を受験、受験科目全体では不合格。企業法については科目免除資格付与（以後2年間は申請により免除）		短答式：受験して合格 論文式：監査論及び企業法を除く3科目を受験、受験科目全体で合格 ⇒論文式合格	

（注）当該年度の論文式試験において、論文式試験全体では合格していないが、試験科目のうちの一部の科目について公認会計士・監査審査会が相当と認める成績を得た科目については「科目免除資格付与」と表記